

中学校の頃から数えるともう 10 年近く英語を勉強し、TOEIC などの試験を受けたりして自分の英語力を試してきました。しかし、日本でいくら勉強しても英語を使う機会はほとんどありません。そこで本場の英語を体験し、自分の英語がどれくらい通用するのかを試したいと思い今回の研修旅行に参加しました。



3月9日夜東予港を出発して、現地時間の10日の夕方にシカゴに着きました。旅行のスケジュールのほとんどが移動時間だったのですが、移動中も見るとの全てが珍しいものばかりで退屈しませんでした。飛行機は何回か乗ったことはありましたが、海外は初めてでした。12時間以上の飛行時間に耐えられるかどうか心配でしたが、思ったより機内は楽しかったし、多少眠ることもできました。ここでは機内食などの質問は全て英語でした。日本を出て初めての英語で正直不安でしたが、Orange juice please! が通じただけで本当に

嬉しくなり、たったこれだけで向こうについても大丈夫だと思ってしまうました。1番大変だったのは入国審査でした。ここではいくつかの質問を英語で答え、顔写真と指紋を取りました。また、日本より厳しい持物検査がありました。僕はカメラのフィルムを持っていて、X線検査の際感光してしまうので機械に通したくないということを伝えなければいけませんでしたが、身振り手振りを合わせつつ何とか伝えることができたので嬉しかったです。



シカゴは高層ビルが立ち並んでいて大都会という感じでした。もちろん、人もたくさんいました。建築の町と言われるだけあって、建物がただ高いだけでなくどこか趣きがあり、街中を歩いたときは不思議な街だと思いました。また、展望台に登ったとき街全体を見渡すことができたのですが、ビル街の間にポツンと低くて古い建物があつたりして、それがまたアクセントになっていたりして見飽きない街でした。そのほかにも、建物の隙間に急に芸術作品が現れたりして、本当に自由に街を作っているという印象を受けました。僕は、博物館で展示物を見たりしたときよりも、移動中などに街中を歩いて建築物を見たり、街の雰囲気を感じたりしたときが一番楽しかったです。



シカゴ市内には地下鉄がたくさん走っていて、今回の旅行の移動手段の主流となっていました。旅行中は5日間のパスをもらい、日本で言う定期券のようにして使うことができました。それぞれの路線が色で分けられていて日本に比べると使いやすかったです。また、駅名が通りの名前が決まっていたので同じ名前の駅が2個あつたりしたのは驚きました。夜のプラットフォームにはストリートバンドのような人がいて日本では絶対にできないような大音量で演奏し陽気に歌っていました。駅員さんも注意するそぶりはなく、ノリノリでした。電車を待つ時間は退屈なのでその間にジャズやブラックミュージックを楽しめたのでよかったです。



旅行中一番苦労したことは食事でした。初日のピザは1切れしか食べられませんでした。美味しくないわけではないのですが量がすごく多かったです。2日目の夕食にはギリシャ料理を食べました。すごく酸味の強い味付けでした。チーズもクセのあるものでしたが、パンとすごく合うのでギリシャ人にとってのチーズは日本人にとっての漬物みたいなものなのだろうと思いました。アメリカ滞在中はお腹が空くことはありませんでした。また、どの料理も完食することができず、食べ物に関してはアメリカには勝てませんでした。おかげで、日本に帰ってきてからの食事がホントにおいしく感じました。



自由行動の日は早朝に出発し、ミシガン湖近くのグラントパークに行き、日の出を見ました。ヒコーキ雲の演出もあって、ものすごくキレイでした。

この日は美術館にも行きました。ここでは僕のクレジットカードが使えないというトラブルが…。仕方なく1人でATMに行きましたが対応している銀行が見つからずお金がおろせない状態でした。その後も一人で1時間ぐらい街を探し回りました。道行く人はみんなものすごく親切で、だれでも教えてくれました。やっとのことで対応しているATMを見つけて

美術館に入ったころにはヘトヘトでした…。おかげで美術品を堪能することはあまりできませんでしたが、Ed Ruscha という写真家の写真を見られたのでよかったです。

今回の旅は初の海外旅行だったので不安でいっぱいでした。しかし、全てが終わって日本に帰ってくると今度は団体でなく、個人的に行ってみたいと思いました。今なら入国審査のこととかも全部なんとか自分でできそうです。また、英語力の足りなさを痛感しました。現地では書かれている文字を理解することはできたのですが、話を聞き取ったり、自分で話したりするには苦労しました。でも、ホテルでトイレが詰まったのですがこのときフロントの人に1度で通じたことは嬉しかったです。少しのことで自分が勉強してきた英語が役に立つとすごく嬉しいものでした。このモチベーションを保ちながらより勉強していきたいです。今回の旅ではあえてデジカメを持っていきませんでした。高画質の写真は誰かが撮ってくれると思ったからです。下の写真は僕が撮った写真です。デジカメにない何かが伝われば嬉しいです。(Fisheye2、Diana+で撮影)

